

2010.10.18

あらかき あけみの活動記録

プロフィール

道南・女性の自己実現を支援する会

第1巻 第1号

- 1973年(昭和48年)生まれの37歳。丑年のおうし座
- 函館市生まれ、中部小、新川中(現宇賀の浦中)、遺愛女子高を卒業。一年浪人の後、お茶の水女子大へ。
- 大学では舞踊教育学を専攻。モダンダンス(創作ダンス)が中心だが、日舞やバレエ、各国の民族舞踊など様々な舞踊を学ぶ。
- 卒業後は、マーケティングリサーチの会社に入社。最初は日本企業、転職後は外資系企業に勤める。
- 現在は東京都世田谷区に在住。家族は夫、長女(小1)、次女(保育園)の4人暮らし。

みなさま、はじめまして！ 荒木 明美(あらかき あけみ)です。

今日は、女性のための政治講座2010年「あなたがシティ・デザイナー」第一回の開講記念公開講座にお越しいただきまして、ありがとうございます！！平日、それも週明けの月曜の夜に足をお運びいただいたこと、感謝しております。

本日は、現場主義～マーケティングリサーチを通じて見てきた女性の生き方 と題してお話をさせていただきます。

プロフィールにあるとおり、私は函館市の出身です。駅前の松風町で18歳まで育ちました。夏には、港まつりで家の前にお店が並びました。一万円パレード(今のわっしょいはこだて)の港おどりには、母が日舞を教えているため3歳から毎年踊っていました。冬になると、大門口心商店街主催の福引所が家の近くにできて、補助券含めてためた福引券を持っていき箱から三角くじを引くのが楽しみでした。

高校卒業後、東京へ出て大学に通いました。舞踊教育学という変わった学科で毎日最低1時間は実技がありました。アルバイトも、長野県の川上村で農家のお手伝いをする等色々なことをやりました。大学卒業後は、マーケティングリサーチ(市場調査)の会社に入社し、以来13年間勤務いたしました。



そして、故郷が大好きで、二人の娘を連れて北海道に戻ることになりました。函館で育った18年、東京で過ごした19年。これまで色々なことがありましたが、充実した日々でした。これからの生活がどうなるか、今から楽しみです！

目次:

みなさま、はじめまして！	1
海外調査の経験 (出張した国々)	1
女性支援を始めようとしたきっかけ	2
視察：愛媛県宇和島市	2
全国フェミニスト議員連盟夏合宿	3
非電化工房「地方で仕事を創る塾」	3
道南の女性が自己実現	4

海外調査の経験 (出張した国々)

働いていた13年の間には、海外でおこなう市場調査の経験もいたしました。

最初に出張したのが「台湾」で、入社した4月の月末に行きました(!)。それから入社1年目には、香港、中国(北京・上海・広州・瀋陽・成都)、2年目にはそれらに加えて、フィリピン、タイ、3年目にはアラブ首長国連邦、クウェートにも行きました。今から10年前のことです。

そのあと転職し、前述の国以外には、シンガポール、マレーシア、ベトナム、インドネシアへ行きました。

色々な国で働く女性たちの姿、また各地で生活する女性たちの姿を見てきました。

私が仕事を通じて見てきた女性の生き方をありのままお伝えできればと思います。楽しんでいただけると嬉しいです！

女性支援を始めようと考えたきっかけ

今年の6月に会社を退職して以来、ことあるごとに「地元で女性支援の活動がしたい」と話してきました。

「女性支援って、具体的に何がやりたいの？」当然ながら、よく聞かれます。

そもそも、昔(20代の頃)からいずれは北海道へ戻ることを考えていました。戻ることもありきで、戻ったあとにどんな活動をするのかを考えました。

一人で考えていても堂々巡りなので、去年は「主体的市民をつくる」という理念の学校に1年間通いました。市民活動が盛んなこの学校に通ってからは、仕事関係以外の人との出会いや、つながりができました。また、函館に帰省したときに友人に会う等し

て私は何ができるのかを考えてきました。そこで出た結論が、「女性を支援したい」ということでした。私は小さい頃から女性に囲まれ(日舞を習っている方は女性が多い)、女子高、女子大に進み、女性が中心の職場でした。女性が多い環境が当たり前の生活だったのです。そこで、キーワードが「女性」というのもおかしいですが、女性のための活動をするのがとても自然に感じました。また、自身もひとり親で育ちましたが、函館にはひとり親世帯が多いと聞きます。お母さんが子育てしながらきちんと働けるまちでありたい、そういう支援がしたいと思ったのもきっかけです。色々な支援がありますが、私は「働く」ことに主眼を置いて活動したいと考えています。



視察:愛媛県宇和島市 農業者の山下由美さんを訪ねる

女性支援で、具体的に何ができるだろう？

会社を辞めて情報収集している今年の6月、東京で男女共同参画社会づくりに関する全国総会が開かれ、そこへ参加しました。そこで出会ったのが山下由美さんです。由美さんは当日パネルディスカッションのパネラーとしてステージにあがっていました。そこでの発言に共感し、ぜひお話をもちたい！と思って、連絡先を何とか探し視察させてもらうことになりました。

由美さんは、私より少しお姉さんで、愛媛県の宇和島市で農家に嫁がれました。そこで義父母と柑橘を育てるかたわら、二十数年前から無農薬の米づくりに取り組んだり、年老いた両親が段々畑で柑橘を育てる大変さを見越して野菜作りを始める等していました。

今から数年前、地元の伝統を絶やしたくないという一心から、地元の農作物を使った味噌や焼肉のたれづくりをお仲間の女性3名で始めました。これが「津島あぐり工房」です。醤油工場の跡地で始められました。

津島あぐり工房でみせた発想力・行動力が評価され、その後農水省・JICAから商品開発の専門家としてタイへ派遣されました。タイでは地元で農業に関わるグループへの指導等をされました。

その後、宇和島では「手作りパン工房みなみ」を立ち上げられました。みなみのパンはすべて米粉で作られています。現在、みなみは宇和島の道の駅である「きさいや広場」の一角で営業されています。そんなパン工房みなみとあぐり工房を視察したく、また由美さんから直接お話をうかがいたくて、7月に宇和島へ行きました。みなみの視察では、パンづくりに参加させてもらいました。実際に身体を動かすことで、パンづくりの大変さはもちろん、由美さんのすごさが良く分かりました。何がすごかって、周りのスタッフと一緒に朝6時から午後までパン作りをしています。平行してマスコミや視察の対応、新商品の開発、売上が落ちた時には自分達から売りに出よう！と専用の車で宇和島付近の役場出張所等に営業へ、その他にあぐり工房もあり、家へ帰ると夕飯の支度もする二人のお嬢さんのお母さんです。それを元気に明るくこなしている由美さんと会って、仕事を創って雇用を創出した人として、働く上でのリーダーとして、一人の女性として、非常に勉強になりました。そして、たくさんのヒントをいただいて帰ることができました。



きさいや広場入口



手作りパン工房みなみ



荒木、パン作りをお手伝い



津島あぐり工房

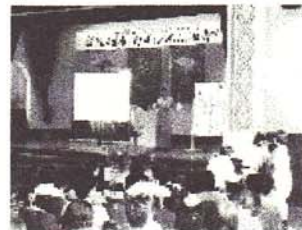
全国フェミニスト議員連盟 夏合宿をお手伝いする

8月7、8日には、函館で全国フェミニスト議員連盟の夏合宿が行われました。全国から会員である女性議員や女性議員の支援者たちが函館に集まりました。

夏合宿といっても、会員以外も参加でき、「女性(あなた)の出番です! チェンジ チャレンジ 地域から」と題された国際フォーラムで、二日間にわたって様々な企画がなされました。一日目は、まちづくりセンターで分科会があり、全部で8つのテーマがありました。その中から二つ選択して参加できました。そのあとは五島軒での交流会を経て、夜には函館野外劇の観劇まで企画されました。二日目は、公民館での基調講演とパネルディスカッションが行われました。基調講演では、ノルウェー王国大使館一

等書記官であるドッテ パッケさんが男女平等政策について日本語でお話されました。その後、希望者は西部地区散策、縄文の里見学をへて、ひろめ荘に宿泊されました。

私は、今回のフォーラムではメッセージ集の作成と当日のお手伝いをしました。元々イベント好きなのでとても楽しく参加ができ、また函館の市民力の強さを知るきっかけになりました。特に、私が参加した二つの分科会を通して(『まちづくり レシピ 女性議員のつくりかた』、『あったらいいなを実現 女性の起業・まちづくり』)、女性がそれぞれの活動の場で活躍している姿を知って背中を押されました。これだけ生き生きと頑張っている人がいるのだから、私も頑張ろう! と勇気とやる気をもらいました。



二日目の基調講演の様子
(パッケさんがプロジェクターを使ってお話されているところです)

非電化工房「地方で仕事を創る塾」に学ぶ

同じく8月から、非電化工房(栃木県的那須にあります)が主催する「地方で仕事を創る塾」にも参加しています。非電化工房の主宰者は藤村靖之氏で発明家でもあります。

藤村氏が発明したものは山ほどありますが、(ぜひHPをご覧ください。「非電化工房」で検索すると出てきます)私の印象に残っているのは、非電化冷蔵庫です。これはモン

ゴルで移動しながら生活している人のために発明したものです。冷やす原理は、放射冷却を使います。藤村氏の根本は「イヒトのためになる発明をしよう」ということです。この他に私が好きなのは、アフリカで使う、魚を乾燥させる機械です。

那須の非電化工房には、魅力的な建物(すべて手作り)や面白い発明品が色々あります。非電化工房(母屋)



非電化冷蔵庫
(ふたを開けたところ)



非電化工房(母屋)

「地方で仕事を創る塾」は1泊2日で行われるのですが、初回(8月)は工房敷地内で宿泊しました。通称ムーミンハウスという



ムーミンハウス
(私は8月に宿泊しました)

ところが、これはフィンランド製の家で、材料キットを購入して自分たちで建てます。



もみ殻ハウス
(もみ殻を断熱材として使用)

非電化と名前がついているとおり、できるだけ自然エネルギーを使う、というのも非電化工房のコンセプトです。

現在は、非電化カフェの建設が進んでおりますが、私もこの非電化カフェを作りたいなと思っております。



母屋の中
(母屋も手作り)



手作りトイレ
(手を洗った水が尿を流すようにつくりになってます。便は肥料になるようトイレの下部分にセットされています)



手作りお風呂
(五右衛門風呂。太陽熱を使ってお湯が沸くようになっています。)

道南の女性が自己実現するのを支援します！

あらか あけみ

道南・女性の自己実現を支援する会

東京都世田谷区太子堂

5-5-16-303

電話/FAX 03(3424)6883

Email 1: araki.akemi@gmail.com

Email 2: kagiyama@tke.att.ne.jp

ホームページも

まもなく完成します！

現在立ち上げ準備中のNPOですが、大きく3つの柱を考えています。

- ・仕事を創る（女性がいきいきと働くことができる場所を創造する）
- ・スキルを身につける（働く上で知っておきたいマーケティングの知識を身につける）
- ・役立つ情報を入手する（女性が生活する上で家や学校で学ばなかったことを知る）

現在は一人で準備をしていますが、一緒に活動してくださる方を探しております。

一緒に活動、まではいかななくてもちよつと興味あり、という方も大歓迎です。

まだ方向性ががっちり決まっているわけではありません。ぜひ、道南の現状を

教えていただき、一緒に考え、一緒に活動できたら嬉しいです。

まずは、意見交換会・勉強会を考えております。



さいごに

さいごまでお読みいただき有難うございました。

18日の講演で、私自身のことを話したら、メインのお話ができないな、そして、私のことややりたいことを知っていただきたいな、と思って急遽前日に作り直しました。

誤字脱字、ご了承くださいませ。。_(_)_

地元で腰をすえて活動することに決めて以来、自分なりにたくさん考え、考えました。その結論、考えるだけでは何も始まらない！！

自分で行動するようになって、はじめて道が拓けてきました。点がどんどん増えていって、その点が線になってきました。

つくづく感じます。人との出会い、つながりがとても大切であること。

この13年間の人間関係は、「仕事」を介しての関係でした。もちろん、その中でも感動することや

感謝することもたくさんありましたが、今の比ではありません。今は、「共感力」が原動力となる人間関係で、本当に私の根っこの部分で嬉しい出会いが続いています。

私もプレッシャーを感じます。仕事では「会社」という後ろ盾がありましたが、今は何もありません。すべての責任を自分が負うしかありません。

それでも、引き換えに「何でも自分で決めること」という自由さが手に入りました。これは、面白いぞ、という経験がすでにできています。

まだ私は海のものとも山のものとも分らないと思います。しかし、荒木の思いが少しでも伝わりましたら幸いです。

今日お越しいただいたみなさまと、一緒に活動したり、今後も連絡をとったりできたらと思います。

今日は、本当に有難うございました！

